

第3回幹事会 会議次第

日時: 令和3年2月5日(金) 19時～

場所: 三石中学校 3階フューチャールーム

1 開会あいさつ

2 協議事項

(1) 学校名の取り扱いについて

3 その他

4 次回、開催日時・場所

・日時 月 日 時～

・場所

5 閉会

第3回 幹事会 要点録

1 日 時：令和3年2月5日（金）19時～20時05分

2 場 所：三石中学校2F特別活動室

3 幹事会員出欠
出席者：10名、
欠席者：1名

4. 協議題

(1) 前回会議の要点録の承認について

3ページ4行目「メールでは相手によって」⇒「文書とか口頭説明だけでは相手によって」
「理由を点数評価するなど」⇒「理由付けがある。いろいろな項目で点数評価、数値化、グラフ化するなど」

(2) 学校名の取り扱いについて

教委 【これまでの幹事会での協議内容】

吉永中学校と三石中学校が統合するにあたっての統合後の中学校の名称については、「新しい校名」とするか「既存の中学校名」とするかで議論してきた。

- ・吉永とすれば、現在の校名の吉永中を引き継ぐ形がベストであり、校名変更は受け入れられない。
- ・三石とすれば、三石中の名にこだわってはいないが、新しい学校を作っていくということで、現在の学校名以外の校名にしてほしい。というのが主な意見。

吉永、三石のそれぞれの意見が異なり、このまま協議を続けても平行線であり、調整することが難しいこと、校名の決定に関わって、個人に責任を負うような形にしてほしくない。との意見を受け教育委員会が校名に関しての調整案を示してほしいことの提案が前回の幹事会であり合意した。その際、教育委員会が提案する事項に関しては協力していただけると認識しておりますが、よろしいでしょうか。

委員 了承

教委 また、吉永中学校と三石中学校の統合に関わって委員の皆さんで共通認

識していることとして、

- ・統合は子どもたちのため。魅力ある新しい中学校を一緒に作っていく。
- ・校名のことで子どもたちが振り回されてはいけない。子どもたちが犠牲にならないようにしなければならない。
- ・統合にあたって校名のことでお互いにもめたくはない。
- ・校名決定が原因で折り合いがつかず、統合自体がなくなるという事態はさけるべき。これらのことが共通した認識であったと思う。このことについてもよろしいか。

委員 了承

教委 【教育委員会内部での協議】

教育委員会の校名に関する調整案を申し上げる前に、教育委員会案を決定するまでの内部協議について概略を説明。

前回の会議での委員からの要請を受け、教育委員会内で協議を重ねてきた。主な協議内容は次の通り。

- ・決め方についても任されている中で、公募という方法も考えたが、そもそも校名変更は受け入れられないという意見がある中で、いきなり公募という話にはならない。という意見があり、公募は却下された。
- ・校名の検討候補としては、これまでの協議経緯を踏まえ、新しい校名、既存の校名（吉永中学校、三石中学校）の3案として検討することとした。
- ・次に校名についてどのような観点で考えていくかを協議した結果、次の4点に集約。①校名のもたらすイメージ・効果、②校名についての市民の理解、納得、③校名決定にかかる学校運営への影響、④行政コスト
- ・これらをもとに検討する上での視点を加え、評価区分ごとに点数化した検討表を作成し、評価委員による評価を行ったうえで、決定していくこととした。
- ・なお、既存の学校名とする場合も一度閉校という形をとり統合後は「新しい学校」としてスタートする形とすることを確認している。
- ・評価委員は、教育委員会事務局職員11名とした。

【集計表を配布し集計表の説明】

評価項目としては、①イメージ・効果 ②市民意識 ③学校運営 ④行政コストとした。また、それぞれの評価の視点としては、①は新鮮さ、児童生徒のモチベーション、歴史や伝統の継承 ②は、市民の理解や納

得、ここでの「市民」は統合に関係する吉永地区、三石地区の市民以外の市民も含めた全体を指す。③は統合に要する時間、教育活動への影響、児童生徒への影響 ④は経費等のコストを考えた。評価の方法は、段階評価で配点を行い、補正ウエイトとして係数を乗じている。教育委員会としては、児童生徒への影響を重視して学校運営の項目に重きをおいている。

評価項目ごとに最高点だったものに備考欄に○をつけている。

- ① 効果イメージの項目については新しい校名
- ② 市民意識の項目については吉永中学校
- ③ 学校運営の項目については吉永中学校
- ④ 行政コストについては吉永中学校

が項目ごとの最高点となって、集計の結果 「吉永中学校」が最高点となった。

- ・集計後の協議の中で、新しい校名が2番目となっているが、新しい名前を付けることで新しい学校をつくっていこうという一体感を醸成することにつながることは一面では確かであるが、校名変更以外で新しい学校としてのイメージ化を図る取組、提案が現在、各部会の中で協議されているので、そちらを考慮すべきだという意見があった。

結果、調整案として、

「吉永中学校」と「三石中学校」が統合して令和4年4月に開校する新しい中学校の校名は「備前市立吉永中学校」とする。ことが教育委員会として決定した。統合後、吉永中学校は新生の「新しい学校」としてスタートを切るということになる。

【質疑応答】

- 委員 評価委員 11 名は誰か。
- 教委 教育長、教育部長、教育委員会内の各課長、教育振興課内の係長、学校教育課内の係長
- 委員 配点は何点満点か。
- 教委 段階配点 A~D の段階評価で 11 人なので 110 点が満点となる。
- 委員 評価項目①~④のうちの重みづけは。
- 教委 学校運営の児童、生徒への影響に 1 番のウエイトを置いている。
- 委員 市民意識が 2 番目にウエイトが高くなったのはなぜか。
- 教委 学校名について市民合意が得られないことになると前に進まないということが大きい。
- 委員 市民意識の中で吉永の合意が得られないということはどう評価したのか。
- 教委 PTA の会合などでの意見を伺って校名を変えることは難しいとして評価

- した。
- 委員 その辺の動機づけの説明をきちんとしたら三石保護者、住民にも理解できるのではないか。
- 委員 係数によって順位が違ってくるのではないか。
- 教委 係数をかける前においても吉永中学校となっている。
- 委員 ②の評価の観点の市民の理解、納得であるが、理解、納得したから説明会をするのは堂々巡りになる。吉永のエリアであの校舎を使用した場合を考えれば説明し易いのではないか。
- 委員 2つの伝統ある学校を統合するのにお互い納得、理解するのは難しい。折り合いがつかないのであれば、直接、統合に関わっていない教育委員会の職員が評価したものは市民意識に近いのではないか。
- 委員 どの評価でも③の評価で決まる。生徒への影響を最優先に考え吉永中学校になったことをきちんと説明してもらえれば納得してもらえないか。吉永中学校という名前で三石の生徒が肩身の狭い思いをしないことの説明も必要。
- 委員 統合準備委員会で説明するのか。
- 教委 報告して承認をいただく。
- 委員 ③の学校運営の配点で評価した人の考え方を教えてもらえないか。
- 教委 それぞれの委員の考え方の詳細は集約していないが集約して説明する。例えば、統合に要する時間では、反対の中で「新しい校名」にするのは長引くことになる。教育活動のうち、教育課程、教員の配置の予定が立たない。一定規模の生徒数を確保し教育環境を整えていくことが統合の目的。
- 委員 吉永中学校になったとしても一旦閉校するということはどういう意味か。
- 教委 形的には新設、閉校式などはこれからの協議になるが新しいスタートを切るということ。
- 委員 どの校名になっても閉校式をするということか。吉永も組織を立ち上げるのか。タイムラインはどうか。
- 教委 まずは統合準備委員会で承認を得る。それから閉校式をするのか、記念事業部会を立ち上げるのか協議していくことになる。
- 委員 閉校は決定事項か。
- 教委 この案を示して承認をいただく。
- 委員 閉校式をしない場合は何をもって閉校なのか。
- 教委 協議の場で決定していくことになる。
- 委員 次の統合準備委員会の開催予定はいつか。
- 教委 3月中旬を予定している。その前に2月末に幹事会を考えている。
- 委員 吉永中学校の閉校は決定事項か。

教委 この案を提出するのとセットで新しい中学校のスタートを切るということ。
委員 統合準備委員会で承認を得られたとしても三石小学校としては新しい名前になるかもしれないという希望をもって臨んでいた。最初の準備委員会で難しいと分かった。準備委員会に出席の保護者は分かっているが、他の保護者にも承認を得た後でもいいから説明をしてもらいたい。
教委 統合準備委員会や各部会で決まったことはペーパーを作成してお知らせしたいと考えている。
委員 保護者への説明はないのか。
教委 その都度の説明は今のところ考えていない。
委員 校名以外のところはペーパーでもよいが校名が決まった経緯、一旦両中学校とも閉校とするという背景を吉永も含めて説明してもらいたい。
委員 教育委員会が説明しなければ私たちが説明しなければならない。教育委員会の意図することや質問に正確に答えられるか不安である。
教委 検討します。
委員 再編整備実施計画では吉永中学校は引き続き学校運営を継続することになっており閉校という認識はない。整合性はあるのか。
教委 学校名ではなくて学校運営についてという意味。
委員 吉永は閉校するという意識がないのではないか。協議していけば、また時間がかかるのではないか。決まったことに対してはやっていく。
委員 確認であるが吸収合併でなく統合なのか。早く合意形成していかなければならない。
教委 様々な協議をしながらすり合わせを行っている。吸収合併ではない。

5. その他

教委 (各部会の状況報告)
市ホームページに順次要点録を掲載している。併せて傍聴もあるので各部会等の開催催予定日時等も掲載している。
委員 要点録を事前に案内と同時に送付してほしい。
教委 そのようする。

6. 次回の開催について

- ・ 日 時 2月下旬 19時から
- ・ 場 所 吉永中学校